

高めよう「授業力」！ 進めよう授業改善！

「授業力」向上のためのOJTシステム

教員の「授業力」を高め、分かる授業を行い、児童・生徒の学力向上を図りましょう。

個々の教員が「授業力」の自己診断により、自己の課題を把握し、教員相互に授業観察をしながら、日々の授業実践を通して、「授業力」を組織的に高めていくことが大切です。その時、以下の6つの構成要素を活用しましょう。

＜「授業力」の6つの構成要素＞

教材解釈、教材開発

指導技術（授業展開）

「指導と評価の計画」の作成・改善

統率力

使命感、熱意、感性

児童・生徒理解

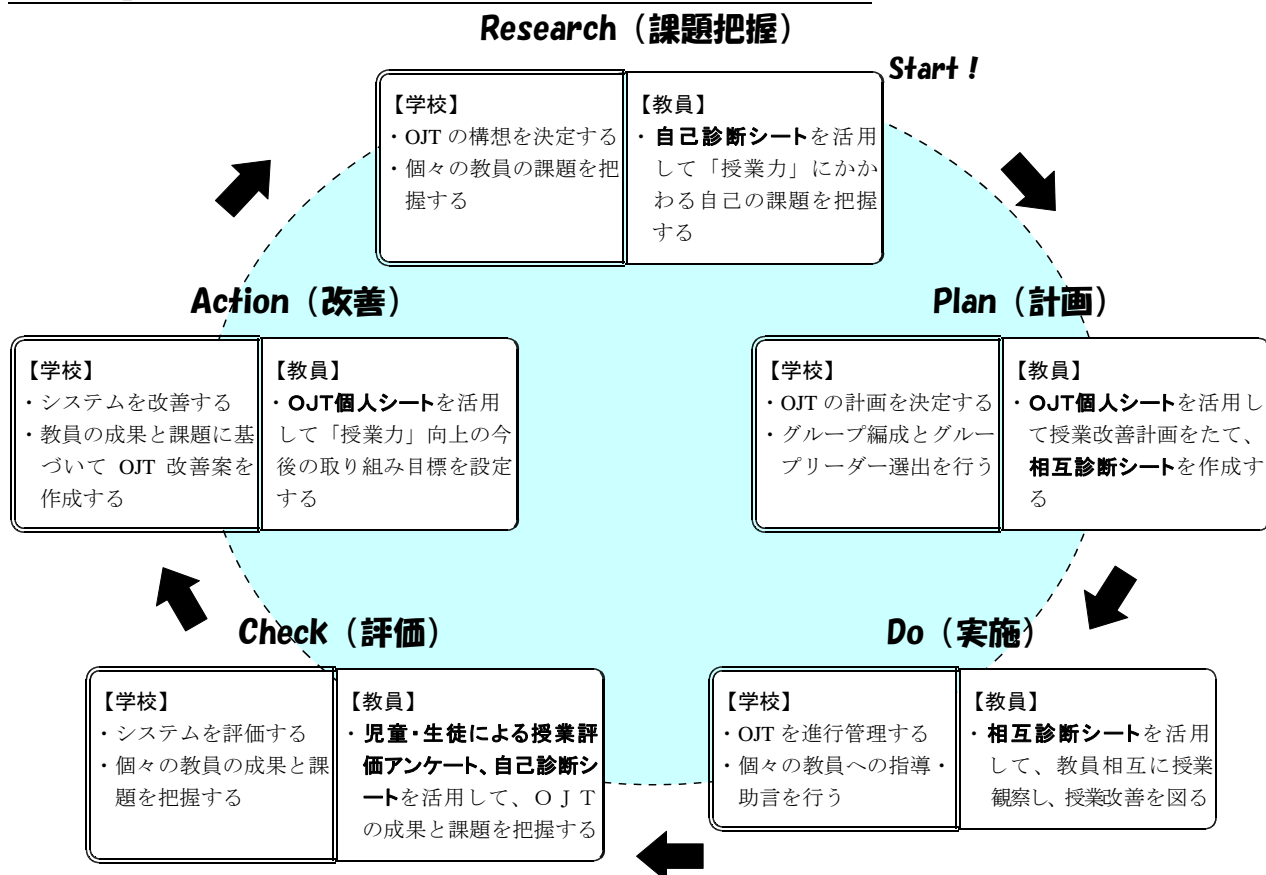
校内研修(OJT)のとらえ方

※OJTとは… On the Job Training の略。

校長の育成計画に基づいて教員が行う研究・研修のうち、学校の職務の遂行を通して実施されるものを「校内研修」ととらえる。

「東京都公立学校の『授業力』向上に関する検討委員会報告書」（平成16年9月）より抜粋

「授業力」向上のための組織的・計画的な取組みを考えましょう。



OJTの効果を高めるためには…

校長の指導の下、副校長や主幹、グループリーダーを中心として、OJT 基本方針に関する共通理解を図るとともに、個々の教員の資質・能力向上のシステムを組織的に推進していくことが必要です。

自校の実態に即した形でOJTを実施してみましょう。(中学校の例)

グループリーダーA教諭の場合

★さあ、わかる授業を目指して、「授業力」を高めましょう！私はグループのリーダーとしても頑張ります。

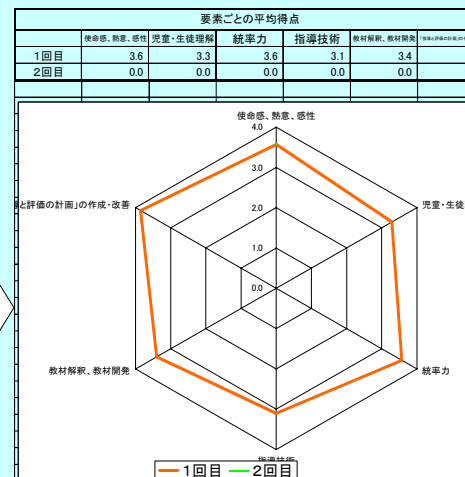


① Research <課題把握>

- ★自己診断シートを活用して課題を見つけます。
- ★校長は個々の教員の「授業力」の課題を把握します。

A教諭の自己診断シート ※自己診断シートは本紙裏面に掲載

番号	分類	診断項目	当てはまる	たいてい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
21	指導技術	児童・生徒に学習の準備についての確に指示している。	④	3	2	1
22		授業の始めに学習のねらいを児童・生徒に明確に示している。	④	3	2	1
23		個に応じた指導を行っている。	4	③	2	1
24		児童・生徒の主体的な学習を促す工夫を行っている。	4	③	2	1
25		教材・教具を効果的に活用している。	4	③	2	1
26		発問の工夫をしている。	4	3	②	1
27		児童・生徒の反応を生かしながら授業を構成している。	4	③	2	1
28		分かりやすい説明をしている。	4	3	②	1
29		効果的な板書をしている。	④	3	2	1
30		授業のまとめを工夫している。	④	3	2	1



※入力フォームは東京都教職員研修センターWebページからダウンロードできます。
http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp

A教諭は説明をするときに要点を絞って話すことを目標にするとよいと思います。グループリーダーとしても指導力を発揮してもらいます。

- グループの編成例
- A教諭 (教員経験15年目、国語、第3学年担当)
 - B教諭 (教員経験1年目、英語、第2学年担当)
 - C教諭 (教員経験6年目、数学、第1学年担当)
 - D教諭 (教員経験21年目、音楽、第3学年担当)



次の課題解決にむけて

⑤ Action <改善>

★評価を基に、新たな目標を設定します。

【A教諭の課題】

話し方や発問の仕方については成果が見られた。しかし、生徒の学習状況から考えると、「教材解釈・教材開発」の点については、まだ課題のあることに気付いた。今後は、その課題解決に目標を設定し、さらに専門性を高めたい。

【OJTシステムの改善】

グループリーダーとしては、授業観察やグループ会議の日程調整に努力した。次はグループ会議での協議の仕方を工夫したい。

A教諭の目標

<指導技術を課題として設定>

- ①生徒の興味を引きつけるような話し方を身に付ける。
- ②生徒の思考を深めるための発問や言葉かけを工夫する。

次は

② Plan <計画>

- ★自分の課題に合った項目を選び相互診断シートを作成します。
- ★主幹は、各グループのOJT進行計画を把握します。
- ★グループリーダーは、授業観察の日程を調整します。

振り返ろう

④ Check <評価>

★時期や方法など、OJTシステムについての評価を行います。

さあ、いよいよ

③ Do <実施>

★授業観察後に、授業者に感想等を伝えるとともに、相互診断シートに評価や気付いた点を記入して、授業者に渡します。

★グループ会議を実施し意見交換をします。

グループ会議での意見交換

A教諭
Cさんは、生徒の集中を促すのにカードを活用して、とても有効でしたね。Bさんはどのような工夫を普段していますか。

B教諭
Aさんの授業観察から、生徒への言葉かけのヒントをもらいました。自分の授業にも、すぐに生かすことができると思っています。

D教諭
Bさんは学習場面に応じて意図的な生徒への言葉かけを工夫しており、授業が変わりましたね。

A教諭(15年目、国語科)の授業観察から

○月○日(○)・・・1回目の授業観察

D教諭からのコメント
指示を出すときに、説明が長くなっていました。生徒の集中が続かなかったのも、そこに原因があるのではと思います。

△月△日(△)・・・2回目の授業観察

B教諭からのコメント
発問に対する生徒の反応を必ず全体に返し、学習に生かしているところがよかったです。

C教諭からのコメント
今回の授業では、指示が端的で分かりやすく、授業にめりはりがありました。とても参考になります。

D教諭からのコメント
授業場面に応じて話し方や声の調子を変えるなど、工夫が見られました。

A教諭の相互診断シート

指導技術	診断項目	当てはまる	たいてい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
指導技術	授業の始めに本時のねらいを児童・生徒に明確に示している。	4	3	2	1
指導技術	机間指導を意図的に行い、児童・生徒の学習状況を把握し、適切な言葉かけや指導をしている。	4	3	2	1
指導技術	児童・生徒に興味・関心をもちさせる教材・教具を工夫している。	4	3	2	1
指導技術	児童・生徒の思考を深める発問をしている。	4	3	2	1
指導技術	ノートやワークシートからも児童・生徒のよい意見を見いだし、授業に生かしている。	4	3	2	1

自由記述欄(気付いた点とアドバイス)

【教科】 : から : まで参観
年月日 記入者

★『指導技術』の具体項目

- 授業の始めに、学習の準備について確認している。
- 忘れ物をした児童・生徒に適切に対応している。
- 授業の始めに本時のねらいを児童・生徒に明確に示している。
- いつ、誰が、何を、どうするかを明確に分かるように指示を工夫している。
- 机間指導を意図的に行い、児童・生徒の学習状況を把握し、適切な言葉かけや指導をしている。
- 児童・生徒のつまづきを把握し、その場ですまづきに応じた指導をしている。
- グループ学習等を取り入れて、児童・生徒同士が学び合う場を設定している。
- 体験的活動や作業活動を意図的に取り入れている。
- 少人数指導等、一人一人の児童・生徒とのかかわりを増やす指導の工夫をしている。
- 児童・生徒の実態や興味・関心を踏まえた発問や課題工夫している。
- 課題発見や課題解決に即した教材・教具を活用している。
- 児童・生徒に興味・関心をもちさせる教材・教具を工夫している。
- 発達段階を踏まえ、問題解決を促す教具を工夫している。
- 課題解決や理解の深化を図るために、ワークシートなどの教材・教具を準備している。
- ねらいの達成につながる発問をしている。
- 多様な考えを引き出す発問をしている。
- 児童・生徒の思考を深める発問をしている。
- 分かりやすい言葉で発問している。
- 児童・生徒の発言内容を必要に応じて板書し、活用している。
- 誤答や不適切な答えには、再度質問したり、ヒントを与えたりしている。
- ノートやワークシートからも児童・生徒のよい意見を見いだし、授業に生かしている。
- 児童・生徒の予想外の反応でも冷静に受け止め、臨機応変に学習の計画を変更している。
- 簡潔でポイントを押さえた説明をしている。

OJTシステム評価シート

評価項目	2グループ				メンバー(A、B、C、D)			
	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまらない	改善に向けた意見(具体的に記入)			
R-PDCAサイクルの期間は適切であった。	1人	3人						
教員相互の授業観察は、十分に行うことができた。	2人	2人			行事と重なってしまい、観察に行くことができなかったときがあった。ビデオの活用も考えたい。			
相互診断シートは、「授業力」向上に役立った。	4人							
日常的な意見交換は、十分に行うことができた。	1人	3人			観察後は早めの意見交換を心がけた。			
グループ編成は適切だった。		1人	3人		学年会などのことを考えると、同じ学年でグループを組むことが有効ではないか。			
グループ会議は、「授業力」向上に役立った。	2人	2人						

- ★OJTを振り返り、研修成果に対する評価を行います。
- ★校長・副校長は個々の教員の研修成果を把握し、指導・助言します。

OJT個人シート

- 児童・生徒による授業評価アンケートの考察
 - ・「短くポイントを押さえた説明を行っている」の項目について、肯定的な評価が多かった。
 - ・「授業に関する知識を豊富にもっている」の項目について、肯定的な評価が少なかった。
- 自己診断の結果(R段階との比較から)
 - ・「発問の工夫をしている」「分かりやすい説明をしている」の項目について成果が見られた。
 - ・「教材解釈・教材開発」の項目について、あまり成果があがっていなかった。

まずは、自己の「授業力」向上にかかわる課題を明らかにすることから始めましょう。

＜自己診断シート＞

「授業力」の6つの構成要素について、各項目を自己診断します。個々の教員が「授業力」に関する課題を明確にし、「授業力」向上の具体的な目標をもつことができます。

番号	分類	診断項目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	使命感、熱意、感性	授業改善を目指し、研修に進んで取り組んでいる。	4	3	2	1
2		学習のねらいをすべての児童・生徒に達成させようとしている。	4	3	2	1
3		教材研究を行って授業に臨んでいる。	4	3	2	1
4		ものごとに対する幅広い関心をもっている。	4	3	2	1
5		心身のバランスを整えて授業を行っている。	4	3	2	1
6		明るく前向きに児童・生徒に接している。	4	3	2	1
7		学習にふさわしい環境づくりを心がけている。	4	3	2	1
8	児童・生徒理解	児童・生徒一人一人の学習意欲を把握しようとしている。	4	3	2	1
9		児童・生徒一人一人の本時の学習の達成状況を把握しようとしている。	4	3	2	1
10		児童・生徒一人一人の変化を把握しようとしている。	4	3	2	1
11		児童・生徒一人一人のこれまでの学習状況を把握している。	4	3	2	1
12		児童・生徒一人一人の発達段階、友達関係、家庭状況等を的確に把握している。	4	3	2	1
13		児童・生徒一人一人に気を配り、言葉かけをしている。	4	3	2	1
14		児童・生徒の発言や行動を共感的に受け止めている。	4	3	2	1
15	統率力	児童・生徒の反応や変容に気づき、授業に生かしている。	4	3	2	1
16		学習意欲を高めることを意識して言葉かけをしている。	4	3	2	1
17		基本的な学習ルールを定着させている。	4	3	2	1
18		的確な指示を出して集団を動かしている。	4	3	2	1
19		学習のねらいを明確に示し、学習に見通しをもたせている。	4	3	2	1
20		学習状況に応じて適時的確な判断を行っている。	4	3	2	1
21		児童・生徒に学習の準備についての的確に指示している。	4	3	2	1
22	指導技術	授業の始めに学習のねらいを児童・生徒に明確に示している。	4	3	2	1
23		個に応じた指導を行っている。	4	3	2	1
24		児童・生徒の主体的な学習を促す工夫を行っている。	4	3	2	1
25		教材・教具を効果的に活用している。	4	3	2	1
26		発問の工夫をしている。	4	3	2	1
27		児童・生徒の反応を生かしながら授業を構成している。	4	3	2	1
28		分かりやすい説明をしている。	4	3	2	1
29		効果的な板書をしている。	4	3	2	1
30	授業のまとめを工夫している。	4	3	2	1	
31	教材解釈、教材開発	教科等の専門的知識を深めている。	4	3	2	1
32		日頃から教材に関連する幅広い情報を収集している。	4	3	2	1
33		学習のねらいを明確に把握して教材解釈や教材開発をしている。	4	3	2	1
34		児童・生徒の実態を考慮して教材解釈や教材開発をしている。	4	3	2	1
35		学校・地域の特色を考慮して教材解釈や教材開発をしている。	4	3	2	1
36		生活との関連を意識して教材解釈や教材開発をしている。	4	3	2	1
37		児童・生徒に興味・関心をもたせるための教材解釈や教材開発をしている。	4	3	2	1
38	「指導と評価の計画」の作成・改善	時数、活動内容、学習形態等の指導計画を立てている。	4	3	2	1
39		場面や方法を明確にした評価計画を立てている。	4	3	2	1
40		計画を立てる際に児童・生徒の実態を考慮している。	4	3	2	1
41		計画に基づき、児童・生徒の評価を行っている。	4	3	2	1
42		指導計画が適切であったかを振り返っている。	4	3	2	1
43		評価計画が適切であったかを振り返っている。	4	3	2	1
44		振り返りをもとに、問題点を明確にして次の計画に生かしている。	4	3	2	1